



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 日本ヒューム株式会社
 コード番号 5262 URL <http://www.nipponhume.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 大川内 稔
 (氏名) 石井 孝雅
 TEL 03-3433-4111

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	17,750	19.4	709	21.0	1,117	35.1	860	47.0
29年3月期第2四半期	14,866	12.0	586	44.5	826	46.1	585	48.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,143百万円 (28.2%) 29年3月期第2四半期 891百万円 (14.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	34.29	
29年3月期第2四半期	23.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	46,509	30,150	64.4
29年3月期	47,501	29,558	61.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 29,943百万円 29年3月期 29,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				16.00	16.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	9.1	1,800	20.1	2,200	12.3	1,600	15.6	63.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	29,347,500 株	29年3月期	29,347,500 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	4,380,165 株	29年3月期	4,179,180 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	25,087,178 株	29年3月期2Q	25,440,899 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は緩やかな回復基調となりましたが、中国を始めとするアジア新興国等の経済は一部回復基調が見られるなか、先行きについては不透明感が払拭できない状況が続いております。

当社関連のコンクリート製品業界におきましては、ヒューム管及びパイル製品の需要は前年同期をやや上回る水準で推移しました。

このような状況の下、当社グループは最終年度となった中期経営計画『Evolution All Japan』の基本方針である安定的利益と持続的成長を目指して、鋭意取り組んでおります。

当連結会計年度のプレキャスト製品を含む、パイル、ヒューム管等のコンクリート製品及び工事等の受注高は165億93百万円（前年同四半期比23.0%増）、コンクリート製品、工事及び不動産収入等を含む売上高は177億50百万円（同19.4%増）となりました。

損益につきましては、営業利益は7億9百万円（同21.0%増）、経常利益は持分法投資利益、受取配当金等により、11億17百万円（同35.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億60百万円（同47.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①コンクリート製品事業

受注高は85億17百万円（前年同四半期比14.5%増）、売上高はプレキャスト製品が増加したこと等により、94億99百万円（同21.3%増）、セグメント利益は34百万円（同81.8%減）となりました。これは、売上原価が増加したこと等によります。

総売上高構成比は53.5%であります。

②工事業

受注高は79億84百万円（前年同四半期比34.1%増）、売上高は杭打工事及び下水道関連工事が増加したこと等により、74億50百万円（同19.2%増）、原価低減等によりセグメント利益は3億59百万円（同187.2%増）となりました。

総売上高構成比は42.0%であります。

③不動産開発事業

売上高は4億96百万円（前年同四半期比3.0%増）、セグメント利益は2億28百万円（同20.5%増）となりました。これは、前年同期に賃貸用物件でリニューアル工事を実施したこと等によります。

総売上高構成比は2.8%であります。

④その他

受注高は92百万円（前年同四半期比6.7%減）、太陽光発電事業やスポーツ施設運営事業等の売上高は3億3百万円（同0.2%減）、セグメント利益は86百万円（同7.4%増）となり、ほぼ前年同期並みとなりました。

総売上高構成比は1.7%であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ9億91百万円減少し、465億9百万円となりました。これは、流動資産において現金及び預金が13億43百万円減少した一方、固定資産において投資有価証券が5億76百万円増加したこと等によります。

また、負債の部は前連結会計年度末と比べ15億83百万円減少し、163億59百万円となりました。これは、流動負債において支払手形及び買掛金が12億69百万円減少したこと等によります。

純資産の部は、前連結会計年度末と比べ5億91百万円増加し、301億50百万円となりました。これは、利益剰余金において親会社株主に帰属する四半期純利益が8億60百万円増加した一方、配当金の支払により4億15百万円減少したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」といい、現金及び預金から預入期間が3ヶ月を超える定期預金を控除したものをいう。）は、前連結会計年度末と比べ13億48百万円減少の74億88百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により使用された資金は、5億73百万円（前年同四半期5億56百万円の獲得）となりました。その主な内訳は、仕入債務の減少12億55百万円、法人税等の支払額4億62百万円等による減少要因があった一方、税金等調整前四半期純利益11億26百万円等による増加要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により使用された資金は、前第2四半期連結累計期間と比べ1億20百万円減少の2億39百万円となりました。その主な内訳は、固定資産の取得による支出1億84百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により使用された資金は、前第2四半期連結累計期間と比べ70百万円増加の5億33百万円となりました。その主な内訳は、配当金の支払による支出4億13百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績見通しにつきましては、平成29年5月12日付「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表した通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,892,925	7,549,082
受取手形及び売掛金	13,711,307	13,687,064
商品及び製品	2,026,699	2,094,012
原材料及び貯蔵品	476,714	385,294
その他	289,660	288,244
貸倒引当金	△14,662	△21,449
流動資産合計	25,382,645	23,982,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,096,622	3,011,809
土地	3,692,743	3,693,848
その他(純額)	2,198,501	2,049,442
有形固定資産合計	8,987,867	8,755,100
無形固定資産		
	137,543	124,250
投資その他の資産		
投資有価証券	12,750,556	13,326,810
その他	472,273	526,648
貸倒引当金	△229,530	△205,522
投資その他の資産合計	12,993,299	13,647,937
固定資産合計	22,118,709	22,527,288
資産合計	47,501,354	46,509,537
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,348,157	10,078,867
短期借入金	1,212,269	1,218,984
未払法人税等	476,049	290,689
賞与引当金	185,557	188,506
工事損失引当金	30,223	17,660
その他	859,127	599,145
流動負債合計	14,111,384	12,393,854
固定負債		
役員退職慰労引当金	36,017	36,017
環境対策引当金	17,014	17,014
退職給付に係る負債	2,612,372	2,648,335
その他	1,165,780	1,263,838
固定負債合計	3,831,184	3,965,205
負債合計	17,942,569	16,359,060

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,251,400	5,251,400
資本剰余金	4,736,508	4,736,508
利益剰余金	20,272,825	20,717,846
自己株式	△1,511,453	△1,647,450
株主資本合計	28,749,280	29,058,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	756,093	1,017,581
為替換算調整勘定	220,308	214,187
退職給付に係る調整累計額	△371,835	△346,449
その他の包括利益累計額合計	604,565	885,319
非支配株主持分	204,938	206,852
純資産合計	29,558,785	30,150,477
負債純資産合計	47,501,354	46,509,537

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	14,866,509	17,750,162
売上原価	12,318,299	15,075,898
売上総利益	2,548,209	2,674,264
販売費及び一般管理費	1,961,652	1,964,801
営業利益	586,557	709,462
営業外収益		
受取利息	192	595
受取配当金	47,161	52,759
持分法による投資利益	312,404	325,557
為替差益	—	5,160
その他	87,088	63,847
営業外収益合計	446,847	447,920
営業外費用		
支払利息	9,729	11,758
為替差損	186,579	—
和解金	—	12,000
その他	10,248	16,373
営業外費用合計	206,557	40,131
経常利益	826,847	1,117,250
特別利益		
固定資産売却益	—	2,323
受取保険金	—	5,167
国庫補助金	1,424	1,440
特別利益合計	1,424	8,930
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	828,271	1,126,181
法人税、住民税及び事業税	272,864	276,909
法人税等調整額	△35,802	△12,999
法人税等合計	237,061	263,909
四半期純利益	591,209	862,271
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,904	1,913
親会社株主に帰属する四半期純利益	585,304	860,357

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	591,209	862,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	139,232	242,016
為替換算調整勘定	144,505	△6,120
退職給付に係る調整額	30,334	23,658
持分法適用会社に対する持分相当額	△13,984	21,198
その他の包括利益合計	300,088	280,754
四半期包括利益	891,297	1,143,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	885,392	1,141,112
非支配株主に係る四半期包括利益	5,904	1,913

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	828,271	1,126,181
減価償却費	318,610	325,217
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26,484	△17,037
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,288	2,948
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	56,083	77,396
工事損失引当金の増減額(△は減少)	—	△12,562
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△1,334	—
受取利息及び受取配当金	△47,354	△53,354
支払利息	9,729	11,758
為替差損益(△は益)	123,250	17,132
持分法による投資損益(△は益)	△312,404	△325,557
固定資産売却損益(△は益)	—	△2,323
固定資産除却損	0	—
国庫補助金	△1,424	△1,440
受取保険金	—	△5,167
売上債権の増減額(△は増加)	1,223,719	10,236
たな卸資産の増減額(△は増加)	△233,963	18,823
その他の流動資産の増減額(△は増加)	81,242	△13,070
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,307,859	△1,255,429
未払消費税等の増減額(△は減少)	△220,828	57,456
その他の流動負債の増減額(△は減少)	85,328	△245,556
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△17,241	3,593
小計	558,629	△280,755
利息及び配当金の受取額	175,044	174,605
利息の支払額	△9,708	△10,025
保険金の受取額	—	5,167
法人税等の支払額	△167,542	△462,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	556,423	△573,277
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3	△4,287
固定資産の取得による支出	△388,824	△184,794
固定資産の売却による収入	—	2,323
国庫補助金による収入	1,424	1,440
投資その他の資産の増減額(△は増加)	26,555	△54,539
投資活動によるキャッシュ・フロー	△360,848	△239,857
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△15,692	16,261
自己株式の取得による支出	△29,049	△135,995
配当金の支払額	△418,827	△413,848
財務活動によるキャッシュ・フロー	△463,569	△533,581
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,692	△1,413
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△263,302	△1,348,131
現金及び現金同等物の期首残高	8,287,591	8,836,718
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,024,288	7,488,587

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	コンクリート 製品事業	工事事業	不動産開発 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,831,352	6,249,583	481,696	14,562,631	303,877	14,866,509	—	14,866,509
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,192	—	21,765	28,958	379	29,337	△29,337	—
計	7,838,545	6,249,583	503,461	14,591,590	304,256	14,895,846	△29,337	14,866,509
セグメント利益	190,959	125,146	189,731	505,838	80,719	586,557	—	586,557

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連機器販売事業、スポーツ施設運営事業、レンタル事業、太陽光発電事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	コンクリート 製品事業	工事事業	不動産開発 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,499,788	7,450,938	496,108	17,446,835	303,326	17,750,162	—	17,750,162
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,643	—	21,259	28,902	101	29,004	△29,004	—
計	9,507,431	7,450,938	517,368	17,475,738	303,428	17,779,166	△29,004	17,750,162
セグメント利益	34,688	359,433	228,678	622,801	86,661	709,462	—	709,462

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連機器販売事業、スポーツ施設運営事業、レンタル事業、太陽光発電事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。